



令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について。

令和6年4月に、6年生を対象に実施された令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果を分析してまとめました。その一部を紹介致します。

【 児童質問紙調査の結果から 】

<家庭学習について>

Q: 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

(1) 3時間以上	6.1(-4.9)
(2) 2時間以上、3時間より少ない	13.0(+0.5)
(3) 1時間以上、2時間より少ない	30.4(-0.7)
(4) 30分以上、1時間より少ない	33.9(+6.9)
(5) 30分より少ない	7.8(-5.2)
(6) 全くしない	8.7(+3.4)

6年生の目安の家庭学習の時間(60分)以上、勉強している児童が少ない。

Q: 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

(1) 4時間以上	6.1(-1.2)
(2) 3時間以上、4時間より少ない	4.3(0)
(3) 2時間以上、3時間より少ない	2.6(-7.3)
(4) 1時間以上、2時間より少ない	28.7(+1.6)
(5) 1時間より少ない	39.1(+2.9)
(6) 全くしない	19.1(+4.0)

週末、勉強している児童が、全国値と比べて少ない。

<国語について>

Q: 国語の勉強は好きですか。

(1) 当てはまる	17.4(-6.7)
(2) どちらかといえば、当てはまる	31.3(-6.6)
(3) どちらかといえば、当てはまらない	26.1(+1.7)
(4) 当てはまらない	25.2(+11.6)

国語の好きな児童が半数以下であり、全国値よりも低い。

＜今後の取組について＞

- ⇒「家庭学習強化週間」・「ファミリー読書週間」を足掛かりとした家庭学習の充実（1学期に配付した『家庭学習の手引き』や『家庭学習の進め方』等の再度の周知）。
- ⇒ICTを活用しつつ、本校の研究主題：「生きて働く言葉の力の育成 ～向き合う 味わう 楽しむ～（国語科）」に力を置いた授業改善。

【 教科に関する調査の結果から 】

＜平均正答率（％）について＞

	国語	算数
本校	68	69
鈴鹿市	68	63
三重県	67	62
全国	67.7	63.4

※ 学校・市・県の平均正答率(%)
 の小数点以下は、発表されて
 いません。本校は、国語・算数
 の2教科とも全国の平均正答率
 (%)を上回りました。

＜強みと課題（⇒改善策）について＞

	強み	課題（⇒改善策）
国語	<p>○話すこと・聞くことの領域は、できている。</p> <p>・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p>	<p>●書くことの領域や記述式の問題の正答率が低い。</p> <p>●読むことの領域における無回答率が高い。</p> <p>・漢字を文の中で正しく使うこと。</p> <p>⇒言葉の意味、熟語などに触れる機会を作る。</p> <p>・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>⇒必要な情報を選択し、まとめる力をつける。また、その内容から自分の考えをもって他者と意見交流する授業づくりを行う。</p> <p>・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</p> <p>⇒物語の全体像を意識した授業づくりを行う。</p> <p>⇒日常的に物語の読み物に触れる機会を作る。</p>
算数	<p>○全ての領域・評価の観点において、よくできている。</p> <p>・偏りなく算数の力があること。</p>	<p>●問題文の読み違いによる誤答が多い。</p> <p>・問題の読み取りが十分でないこと。また、正確でないこと。</p> <p>⇒算数用語を教える。</p> <p>⇒読解力を身につける（国語との連携）。</p> <p>・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。</p> <p>⇒公式の定着を図る。</p> <p>⇒公式の意味を理解できるような授業づくりを行う。</p>